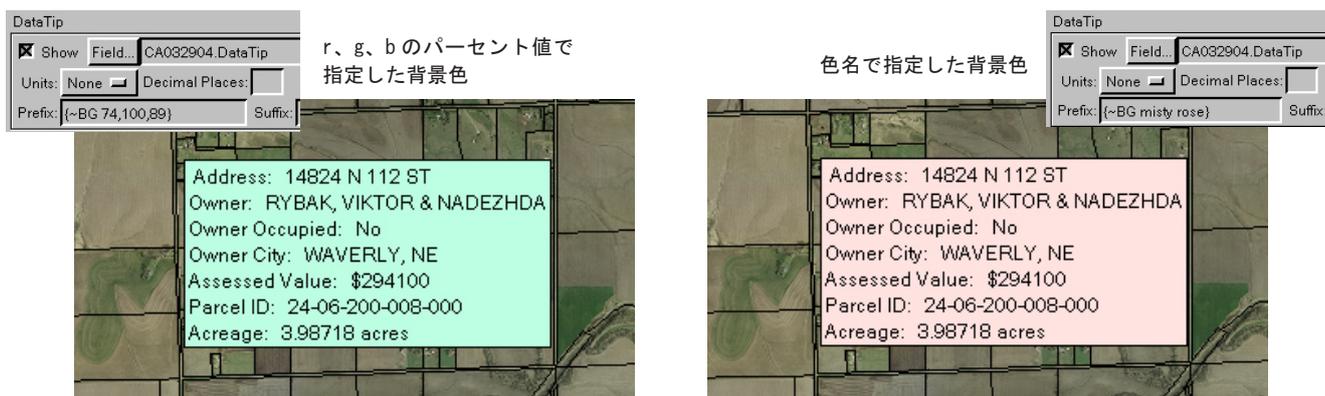


# データティップの背景色の変更

ご存知でしたか?... データティップの背景色は指定することができ、レイヤ毎に変えることができます。

## データティップの背景色の変更機能によって...

- いつでも背景色を変えることができます。
- グループやレイアウト毎により良いコントラストでデータティップを表示することができます。
- オブジェクトをどこに表示する場合でも、変更するまでは同じ背景色で表示することができます。
- 最も近くにある要素に合わせて背景色を変えることができます。



1つのレイヤに対して仮想的なフィールドで指定したマルチラインのデータティップでは、背景色に関する記述を含めることができます。左上図と右上図では、背景色はレイヤコントロールの中のデータティップに対するプレフィックスフィールドで指定しています。



上の3つの図のデータティップの背景色は、位置や地図のスケールによってコントロールされています（データティップ表示オプションは可視レイヤ (Visible Layers) に設定されています）。全体表示（左上図）では、背景色を指定したデータティップのあるレイヤが描かれていないため、デフォルトの背景色が使われています。データティップのプレフィックスの中で背景色を指定したレイヤが表示されるように拡大すると、マウスの位置によって色が決定されます（中央上図と右上図）。

## データティップの背景色の変更方法

### 固定色の場合

- [サポート] > [セットアップ] > [設定] > [インターフェース] を選択します。
- [ツールティップとデータティップカラー] ボタンをクリックします。
- カラーエディタの中から背景色を選択します（全てのデータティップに対して適用されます）。

レイヤ毎に色を変える場合、データティップのプレフィックスフィールドに入力します。

- レイヤコントロールを開きます。
- 例えば {~BG misty rose} と入力します。misty rose とは rgb.txt にある色の名前です。
- あるいは {~BG r, g, b} の形式で入力します。r, g, b は希望する各色のパーセント値です。

さらに知りたいことがあれば...

以下のテクニカルガイドをご覧ください：  
データティップの背景の設定  
(Setting DataTip Background)

